

「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の 編集にあたって

北 栄輔^{1,2,a)}

本年度2回目の論文誌トランザクション「数理モデル化と応用 (TOM)」の発刊です。

TOMでは、MPS研究会においてご講演いただき、研究会と同時開催の編集委員会で査読結果をお伝えするという方法をとっています。今年度も5回のMPS研究会開催を予定しています。7月上旬開催のMPS108 (沖縄科学技術大学院大学)、7月末開催のMPS109 (ラスベガス, 国際会議PDPTAとの共催)、9月下旬開催のMPS110 (奈良女子大学)、12月開催のMPS111 (電気通信大学)、来年3月開催のMPS112です。すでに、MPS108 (沖縄科学技術大学院大学)、MPS109 (ラスベガス)、MPS110 (奈良女子大学)は申し込みが終了しています。ぜひ、多数のご参加をお待ちしています。

今号では、2015年3月開催のMPS107 (山口県湯田温泉)と7月開催のMPS108 (沖縄大学院大学)に投稿されて採録されたオリジナル論文7件と、第11回のネットワークが創発する知能研究会で発表された研究に対して論文の投稿をお願いして採録された特集号論文2件の9編の論文を収録しています。オリジナル論文の担当編集委員は高田 司郎, 小谷野 仁, 吉本潤一郎, 堀田 一弘, 山内由紀子, 鈴木 智也, 高田 雅美となっています。第11回のネットワークが創発する知能研究会の特集号論文については、ゲストエディタを栗原 聡 (電気通信大学), 菅原俊治 (早稲田大学)にお願いしました。

TOMに掲載される論文はコンピュータサイエンスの境界領域を含む非常に広範囲なものになっています。そのため広い分野に対応できるように多くの編集委員を必要としています。これまでも慢性的に編集委員が不足している状態です。TOMでは編集委員を常時募集していますので、自薦・他薦を問わず興味のある方はぜひご一報ください。

本論文誌の配布はオンライン版のみとなっています。なお、論文誌の定期購読制度もありますので、ぜひ、こちらも

ご利用ください。また、研究会開催記録、研究会登録案内、投稿案内などに関する最新の情報はすべてWWWページ上に掲載しております。すべての情報は研究会ウェブページ (<http://www.ipsj.or.jp/sigmps>) よりたどることができますので、MPS研究会および論文誌TOMに関しては、そちらをご参照くださいますよう、お願い申し上げます。

¹ 情報処理学会論文誌トランザクション「数理モデル化と応用」編集委員長
名古屋大学
Nagoya University, Nagoya, Aichi 464-8601, Japan

² 神戸大学
Kobe University, Kobe, Hyogo 657-0013, Japan

a) kita@is.nagoya-u.ac.jp